

2 漢字辞典の使い方の指導について (4年)

【板書事項】

漢字辞典に
なれるための五カ条

(例)

- 一 授業時間にどんどん使おう
- 二 学年に関係なく、調べたい字をどんどん引こう
- 三 印や付せんなど調べた足あとをどんどん残そう
- 四 自主学習でどんどん使おう
- 五 漢字でどんどん遊ぼう

「どんどん」がポイント
使えば使うほどなれていく

【具体例】

漢字辞典に慣れるためには、とにかく「どんどん」使うのが一番。そのための具体例を紹介する。

四の具体例

「自主学習に漢字辞典を活用する方法」

- ・新出漢字の読み・筆順・用例などを調べてノートに書く。
- ・テーマを決めて漢字集めをする。
- ・オリジナル漢字辞典を作る。
- ・漢字に関するコラムの内容などをまとめる。

- ・新聞やちらしから漢字を集めて調べる。
- ・家族と一緒に漢字の仲間集めをする。

五の具体例

「漢字辞典を使ったゲーム的活動」

- ・画数の多い漢字を集める。
- ・同じ音をもつ漢字を集める。
- ・同じ読み方で意味の違う漢字を集める。
- ・早引き競争をする。

【留意点】

漢字辞典は、国語だけでなく、他教科でも頻繁に使わせる。

気軽に引ける環境を学校でも家庭でもつくるのが辞書好きを育てる近道である。学年配当にこだわらず自由に調べる習慣を身に付けるようにする。

調べて終わりにするのではなく、調べた内容を使うことで、漢字辞典の良さを実感できる。

印や付せんなどで調べた結果の累積を確かめることは、自信と励みにつながる。自分の辞典に対する愛着もわく。

漢字を使ったいろいろな学習や遊びの方法を紹介し、意欲を高めたい。児童からも漢字辞典を使ったゲームのアイデアを募るとおもしろい。